

THE AMBITION!

SEASON4 魅力のロジック

恋愛屋ジュン

魅力の方程式

いよいよ、The Ambition!も、残り4回となりました。ラスト1ヶ月は「魅力のロジック」として、女性にも、男性にも、年下からも年上からも愛されるような人になる術を、お伝えしていきます。

これを極めれば、マジで「人生余裕」くらいの生活が待っているし、あらゆる人が助けてくれて、応援してくれるんで、自分一人では到底なし得ないようなことも達成できる、という。そんな可能性を秘めたテーマです。

そんな壮大な話を全4回で詰め込みます。

で、一言で「魅力」と言っても、何を持って人は人を「魅力的だ」と感じるのかって分かりづらいですね。

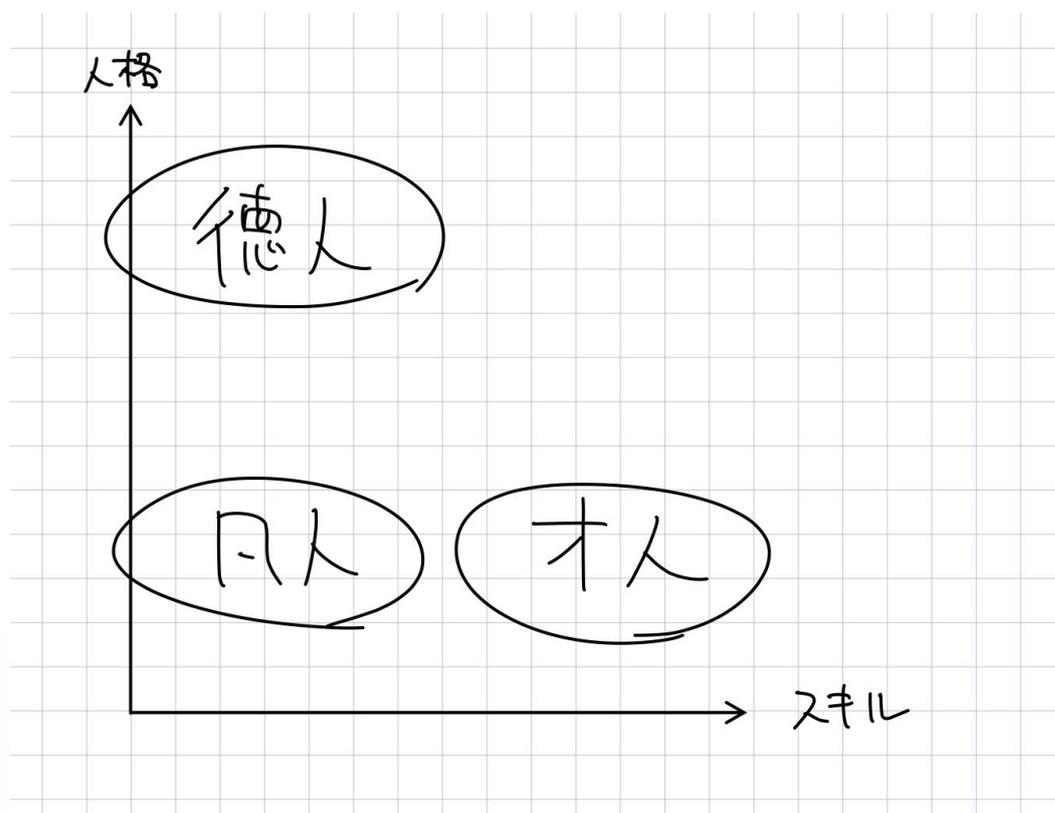
けど、明らかに魅力的な人もいれば、そうじゃない人もいます。

この違いは一体何なのか？そこから解き明かしていきます。

魅力の方程式

魅力の要素には、2つの方向性があります。

それが「才人(さいじん)」の方向と、「徳人(とくじん)」の方向。



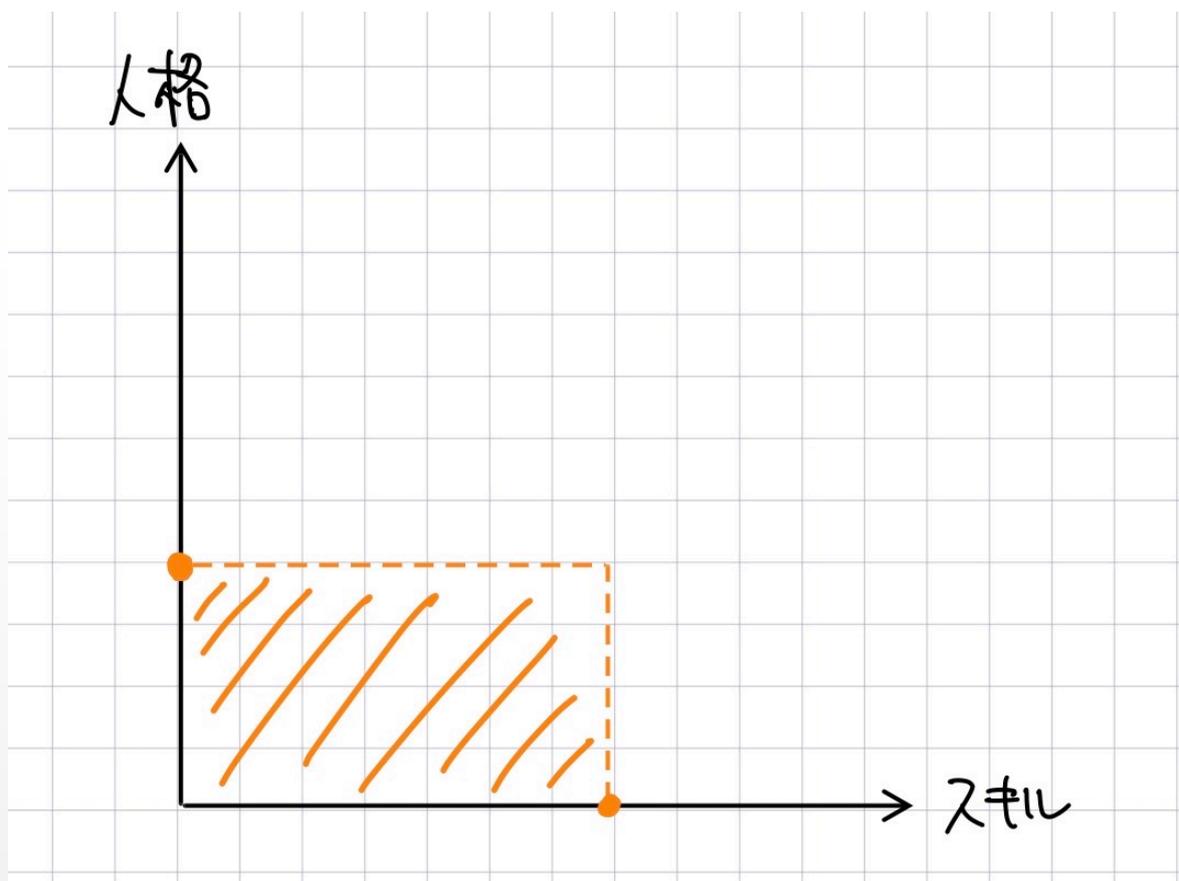
才人というのは、卓越したスキルや、能力、才能があって、それによって誰かの役に立つような人のこと。営業が上手い、人を引き込むような文章が書ける、デザインセンスがある、ファッションセンスがある…などなど。

一方、徳人というのは、人格が素晴らしく、人として豊かな人のこと。
誰かのために一生懸命働いたり、困っている人にすぐ気づいて助けを出したり、人の話を聞いて、的確な答えを出したり…そういう人です。

イメージで言うと、

魅力というのは、この2つのベクトルによって作られる、四角形の面積と同じようなものです。

このオレンジの範囲が、その人の魅力に比例します。



なので僕たちは、スキルと人格の両方を伸ばしていき、己の魅力を高めていく必要があるのです。

しかし、ほとんどの人は「スキル」にのみ、フォーカスします。いかに女を口説く技術があるだとか、何人抱いただとか、こんなテクニカルな会話を展開しただとか・・・

まあ、もちろんそういったコミュニケーションスキルを身に着けることも、もちろん重要です。女性の感情が手にとるように分かり、的確なコミュニケーションを取るスキルは、必要不可欠だと思います。

けど、チカラだけを伸ばしてしまうと、平気で人を操作できます。

そして、自分に都合のいいように扱ったり、搾取したり、無碍に扱ったり、他人を蹴落としてでも自分の利益を得ようとしたりと、「人として最低な行為」をし始めてしまうのです。

しかも、困ったことに、

チカラがある余り、最初は上手くいってしまうのです。

「憎まれっ子世に憚る」といいますが、まさにその通りで、力だけを持った人は、最初の一瞬は成功したかのように見えるのです。

しかし、

その栄光は長くは続きません。

この世界の原理：二次方程式理論

この世界の原理原則は、二次方程式のようなものです。

$$(x-a)(x-b)=0$$

これが二次方程式です。で、数学の授業で「右辺を0にして解きなさい」と習いましたよね。

で、現実世界も、同じような方程式が成り立ちます。

(自分が誰かにやったこと)(自分に起こる出来事)=0

になります。

例えば、他人に10の嫌なことをしてしまったなら、自分に10の嫌なことが返ってくる。逆に他人に30の良いことをしたら、自分に30の良いことが返ってくる。

そして「人生全体」を通して、その総和は0になります。

他人に与えた分のものが、自分に返ってくる。

これが、単純ですが、非常に重要なこの世界の原理です。ただ、誰かに悪いことをしても、それが自分のもとに返ってくるまでにある程度タイムラグがあるので、

悪人でも一時は成功しているように見えるんです。(帝王学の世界では、約12年でプラマイ0になると言われています。)

ただ、12年以内に、確実にやったことの「清算」が起こります。

だから、力に固執しすぎて、力に溺れて、力にコントロールされてしまうと、後から相当な痛い目を見ることになるわけです。

そんなの、嫌じゃないですか。

だから、スキル(力)は「使い方」とセットなのです。

正しい使い方を知った上で力を手にしなければ、その先に待っているのは破滅です。(ほとんどのナンパ氏は破滅の方に行ってますしね。)

だからこそ、スキルを伸ばしながら「徳人」の方向も伸ばしていく必要があるのです。

徳人とは

以前もレポートの中で「徳」という字を使ったことがあります。

覚えていますでしょうか？第5回目のレポートで、「陰徳を積む」という話をしました。

復習がてら、その部分を載せておきますね。

陰徳を積む

今回は「魅力貯金の初期値を上げる」というテーマでお伝えしてきました。言い換えるなら「恋愛をイージーゲームにする方法」と言ってもいいでしょう。

優秀なオスは、自分の実力を上げることももちろんですが、自分が有利に戦える場を作ることにエネルギーを割きます。

そのための手法が、これまでお伝えしてきた

- 1：見た目を磨く
- 2：リーダー(orサブリーダー)になる
- 3：水火輪転の法

などなど…です。

で、あと1つ、これは恋愛だけではなく、人生自体をイージーゲームに変えてしまうような手法、をお伝えしようと思います。

僕はこれを意識し始めてから、ありとあらゆる事が、上手くいくようになりまして…「帝王学の真髄の1つ」と言ってもいいかもしれません。

それが「陰徳を積む」ということです。

「徳」という言葉を聞いたことがあるでしょうか？

正確な出典は、中国の古典などに書いてあるのですが、ややこしい話は抜きにして、「**徳=いい事したポイント**」だと思ってください。

例えば、

- ・被災地支援に寄付をした
- ・道端に落ちているゴミを拾った
- ・電車で席を譲った
- ・落ち込んでいる人を励ました

などなどの、いいことをしたら、ポイントがたまる、という感じ。

この、ポイント集めを「徳積み」と言って、古代中国の人や、日本人も、みんな心がけて生活していました。

徳積みの重要性を説いた「和語陰騭録」には、

「積善の家には必ず余慶あり、積不善の家には必ず余殃あり」

と記されています。

徳を積んでいる家には、必ずいいことがあるよ。

悪いこと積んでいる家には、必ず悪いことがあるよ。

という意味です。

昔の人は、これを信じて、生活の指針にしていました。

で、この徳には二種類あって、

- ・陽徳(ようとく)：人に知られるような善行
- ・陰徳(いんとく)：誰にも知られない善行

があります。

陰徳は、陽徳の10倍ほどの、徳ポイントがある、と考えられています。

…というのが「徳」の説明です。

で、この徳が、果たして本当にあるのかどうか？
積善の家に、必ず余慶があるのかどうか？

は、どうでもいい話で、

**徳があろうがなかろうが、陰徳積むような生き方をしていたら人生イー
ジーゲームになりますよ、というのが僕の主張です。**

たとえば、震災のときには、多くの芸能人が、多額の寄付をしていました。それを「俺は〇万円寄付したぞー！どうやー！」と、堂々と公表した人は、売名行為だのなんだの、なぜかバッシングが飛んできたりします。

これが「陽徳」です。

自分の善行を公表した結果、せっかく徳積みをしたのに、その効果が薄れてしまいます。

しかし、震災当時は何も言わずに、多額の寄付をし、被災地でも熱心にボランティアをしていた芸能人が、

後になって、現地の方々の噂が広まって、「実はアノ人、震災の時にこんないい事してたんだよ！」となると、

「スゴい！あの人カッコいい…！」となります。

これが「陰徳」です。

善行に「誰にも言わなかった」というスパイスを加えることで、徳量は何倍にも跳ね上がり、他人からの評価も跳ね上がります。

陰徳を積む生き方をしていると、

「あいつ、全く自慢しないけど、日頃からずっと、いい事しまくってる」

という状態が作れます。

超、カッコよくないですか？

アピールポイントや、善行は、その人から直接聞くより、他人から間接的に聞いたほうが、何倍も説得力があります。

そして、自分の知らないうちに、あなたへの評価(魅力貯金)が、バンバン溜まっていくのです。

人は噂好きなので、あなたがあえて、自分の徳積みを公表しなくても、勝手に回っていきます。だから、「どうせ、いつかみんな気づいて、俺に惚れ込む事だろう」と気楽な気持ちで、日々、陰徳を積んでいってほしいと思います。

なるべく、みんなに見つからないように、隠れて善行をする。

これが、陰徳を積む生き方、です。

参考までに、僕が日頃心がけていることを、載せておきますね。

- ・ コンビニのお釣りは募金箱に入れる
 - ・ 定期的に寄付をする
 - ・ 使ったトイレをちょっと掃除してから出る
 - ・ 約束を厳守する
 - ・ 会社のみんなに差し入れを買っていく
 - ・ 会社のデスクをキレイにして帰る
 - ・ デートの時に、ちょっとした飲み物やお菓子を買っていく
 - ・ 落ち込んでる人に、声をかける
 - ・ 常に口角を1ミリあげて、いい表情でいる
 - ・ 人の善行を褒める
 - ・ 何かしてもらった時に、オーバーに嬉しがる
 - ・ 習っている人のメルマガに返信する
 - ・ 教わったことは、すぐに実践して報告する
- etc…

こういった徳積みを、コツソリやることで、見えない場所で、あなたの評価は上がり続けていきます。

これは、日々の日記などに「今日実行した陰徳」を記録していくと、ゲーム感覚で楽しんで出来るので、おすすめです。

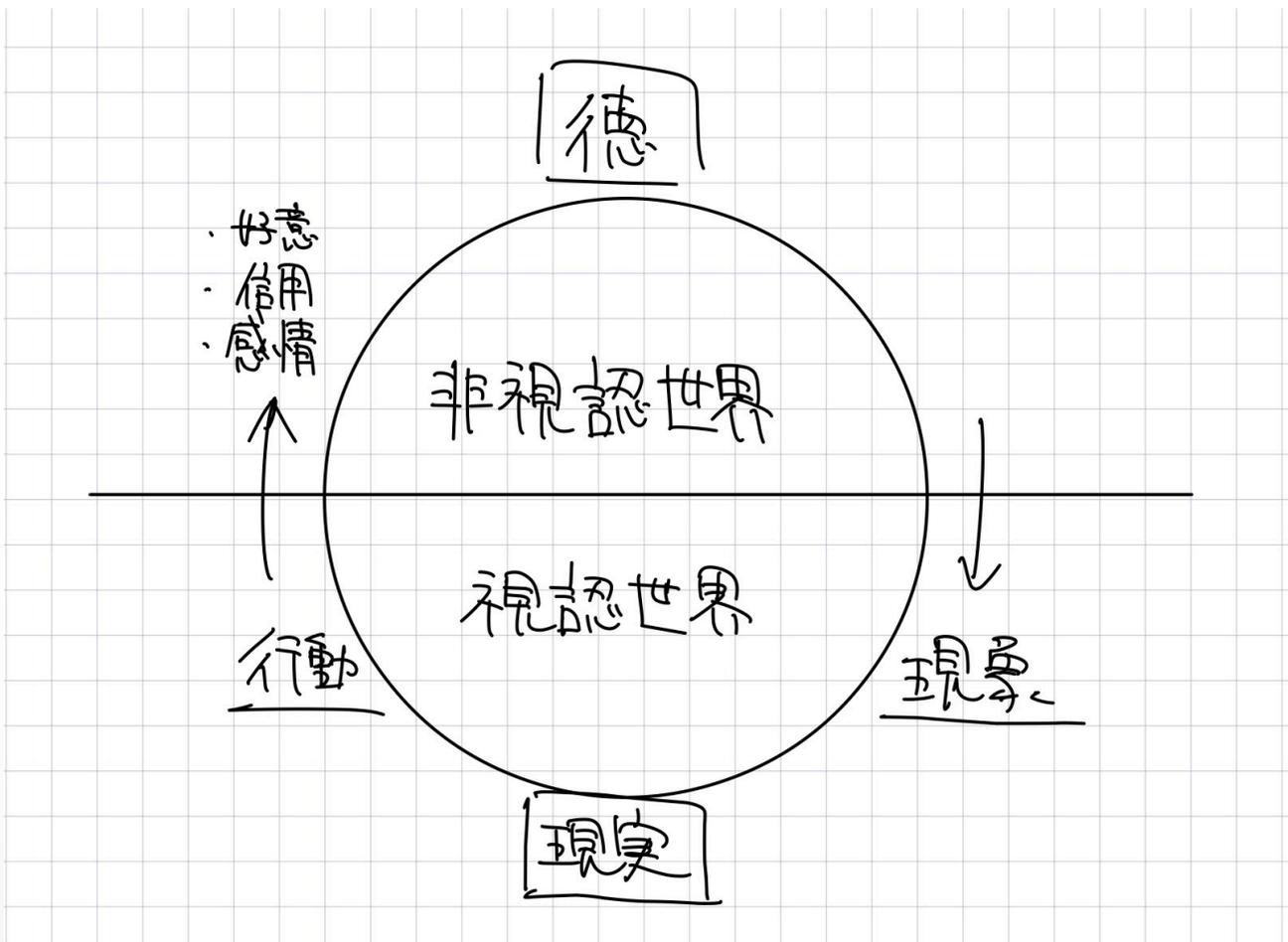
僕も、毎日やってます。

↑引用ここまで

これが「徳人」的な方向です。思い出していただけたでしょうか？

で、ここではさらに帝王学の真髄ともいえる「徳」の概念を紹介します。(これが、あらゆる帝王学理論のもとになっているものです)

それが、この図。みたことありますよね？



以前紹介した”循環図”ですが、実はこれが完全版です。

線より下側が視認世界。目に見える世界です。

線より上側が非視認世界。目に見えない世界です。

線より下側の世界でやった行動は、全て「徳」として貯金されます。良いことをすれば、いい徳がたまり、わるいことをすれば、悪い徳がたまるというイメージです。

その徳は、定期預金のような感じで、時折現象化されます。

良い徳を貯めていた人には良いことがおこり、悪い徳を貯めていた人には悪いことがおこる、というわけです。

なので、

良いことをする→徳がたまる→現象化する

の間に、タイムラグがあるのです。

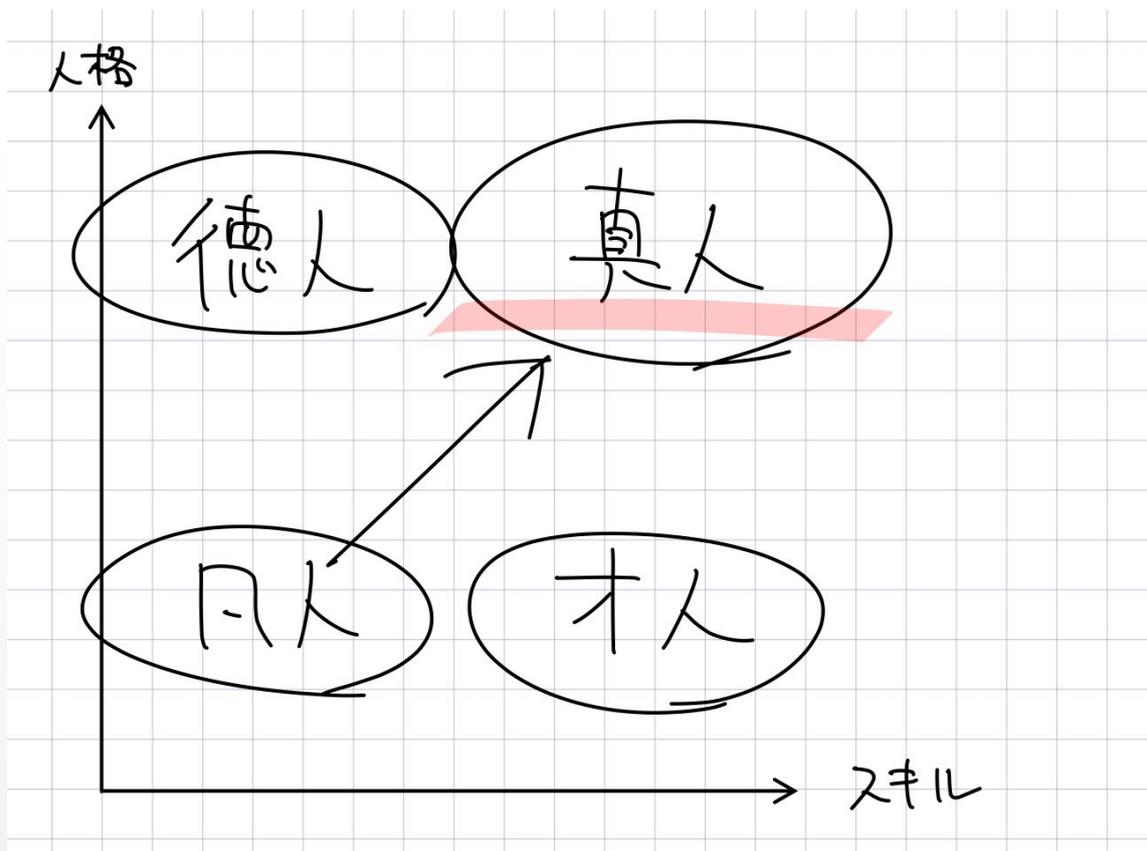
このタイムラグを「待てる」人が、徳人ともいえるでしょう。

すぐに見返りを期待せずに、常に徳がたまるような良い行いをし続ける。そういう人には、長期的に見ると良いことがドンドン起こるので

真人の境地

で、最終的にみんなに目指して欲しいのは、

才人でもなく、徳人でもなく、「真人(しんじん)」の境地です。



スキルも持っている、人としても徳高い。

そういう人のことを、老荘思想の言葉で「真人」と言います。

いや、普通に考えてみて欲しいんですけど、

「むっちゃ能力の高い、むっちゃ人格者」

って、最強じゃないですか？

最強っすよね。

想像するだけで、魅力的すぎますよね。

だから、そういう境地を目指して欲しいなあと思います。

というわけで、今回は概論的な話をしました。

魅力を高めて、男としての人生の成功を掴むための方向性は、なんとなく理解して頂けたでしょうか？

ここから残り3回をかけて、真人に到るための習慣、手法などなどの帝王学の真髓を、バッチリお伝えしていきます。

ぜひ、楽しみにしていてください。

では、今回はこのへんで。

ありがとうございました！

恋愛屋ジュン